

住環境財団

2023 年度助成金

事業報告書

事業名

「気候危機とサステナビリティ領域の政策起
業(特に気候テクノロジー)」

公益財団法人 国際文化会館

1. 事業名

気候危機とサステナビリティ領域の政策起業(特に気候テクノロジー)

2. 実施団体名、責任者名

公益財団法人国際文化会館
常務理事(代表理事) 神保謙

事業担当者 PEP ディレクター 馬田隆明

3. 事業の目的

迫りくる気候危機への対策として、テクノロジーの開発や活用が肝要であるという認識が世界的に広まる中、世界各国は水素戦略やグリーン成長戦略といった産業政策を発表しており、気候危機対策と産業政策を両輪で進めつつある。日本政府も GX 実行会議を開くなど、その流れに追随している。

そうしたテクノロジーの開発や活用の活動主体として世界的に期待されているのがスタートアップであり、岸田政権も「新しい資本主義」の柱のひとつにスタートアップ育成を掲げている。

しかし、2023年の日本の「スタートアップ5か年計画」にはグリーンや気候の文字はなく、一方で「GX 実現に向けた基本方針」にはスタートアップの文字がなかった。本研究は、こうした歪な環境の中、政治家や官僚を気候テック (Climate Tech) の起業家のコミュニティに巻き込み、民間からのアウトリーチで政策を変えていく「政策起業」の手法を、気候テック領域にも実装することをねらいとする。

4. 事業の概要

Policy Entrepreneur's Platform (PEP) は「政策起業」の概念や方法を広く伝えることで、ひとりひとりが公共政策を作る社会の実現を目指している。

PEP サミットは年に一度の大型イベントとし、複数の領域にまたがる政策起業家が集まり、議論する場として毎年開催している。2023年度(2024年1月開催)は初めてオフラインの一般公開イベントとして開催した。

5. 関連の実施概要

2023年10月3日 気候テックに関するラウンドテーブル

気候変動・環境に関連するスタートアップの起業家と政治家と会談の場を作った。この場で環境や規制の在り方について議論をしたことをきっかけに、その後、参加者による新しい気候関係のスタートアップの立ち上げが行われた。

2024年1月20日「PEP サミット 2024」

年に一度の政策起業家の祭典として開催し、200人を超える登録・参加があった。河野デジタル大臣の基調講演のほか、気候テックもかかわる6セッションを開き、聴講だけで

はなく参加者全員でのワークショップ的な議論を行った。また、気候変動に取り組む若者団体を支援し、発表の機会を提供した。

2024年1月から「PEP Talk」

社会問題などを取り扱う書籍の著者へのインタビューシリーズである PEP Talk を PEP サミット直後に配信を開始し、PEP サミットのモメンタムを維持する活動として継続している。

6. 事業の成果と今後の課題

事業の成果として、環境問題に関連するスタートアップを輩出するきっかけを作れたほか、PEP サミットを通じて気候テックのモメンタムを上げ、政策起業家同士の交流を生むことができたため、一定の成果を上げられたものとする。

今後、気候変動に対処するためのスタートアップを支援する『PEP for Climate Tech』を拡大・継続していく予定であり、それぞれ支援先を国内・海外から集めている。

今後の課題としては、支援先となる環境問題に取り組むスタートアップをより増やしていくことが挙げられる。そのため、気候変動関係の財団からの支援が得られれば、直接的にそうした貢献ができる活動を追加で行い、課題を解決していきたいと考えている。

以上